

## 「美しい地球を残したい」

奈良女子大学附属中等教育学校 2年 西松 佐和香

地球は美しい。宇宙から見た地球の写真は幾度見ても見飽きません。しかし、この美しい地球を守っていくことはできるのでしょうか。

これまで、地球温暖化や環境破壊について、さまざまな議論を目にしてきました。例えば、二酸化炭素排出量2位のアメリカは、アメリカファーストの大義のもと地球温暖化に目をつむり、パリ協定から脱退することを表明しました。その一方でアイスランドやスウェーデン、プエルトリコなどは、二酸化炭素排出量ゼロに向けての取組を発表しました。

今の私には、どの国の政策が正しいのか判断することはできません。そこで世界のニュース、特に CNN、BBC などのニュースを見るようになりました。日本のニュースとは違い、よく地球温暖化についての報道があるように思います。そこで、地球温暖化についての本や雑誌を見るようになりました。その中にこのような文がありました。

「This is a story about four people named: Everybody, Somebody, Anybody and Nobody. There was an important job to be done and Everybody was sure that Somebody would do it. Anybody could have done it, but Nobody did it. Somebody got angry, because it was Everybody's job. Everybody thought Anybody could do it, but Nobody realized that Somebody wouldn't do it. It ended up that Everybody blamed Somebody when Nobody did what Anybody could have done.」

みんな誰かがやると思ってそのまま放置しているのです。そして誰も何もせず、対策を練らず、誰かのせいにしたまま何も起こらずだらだらと時間が過ぎていく。これが世界の現状だと思います。

しかし、ニュースなどを見続けていたところ、独自の行動を取っている人たちを知りました。例えば、スクールストライキ Fridays for future をはじめ、地球温暖化への取り組みを呼びかけているグレタ・トゥーンベリさんです。彼女は 15 歳の時に学校の授業を休み、世界中の人々に地球温暖化についてもっと意識してほしいとスウェーデンの国会議事堂の前で呼びかけました。すると、世界中の人々がグレタさんを応援したり支持したりするようになりました。彼女は家でも地球温暖化を意識しています。彼女は、環境に悪いこと、悪いものは一切切り捨てています。最近、スウェーデンからソーラーパネルのついた船でアメリカに向かい、無事到着しました。なぜ飛行機を使わなかったのかというと、二酸化炭素の排出量が多いからです。グレタさんのお母さんは、世界的に有名なオペラ歌手で、よく飛行機に乗っていましたが、グレタさんが説得してそれをやめさせたそうです。そのすごい根気と説得力、そして努力は、世界中に響いています。そして、今では世界中の生徒たちがスクールストライキに参加しています。これをグレタ・エフェクト(バタフライ・エフェクトにちなんで)といったりします。このように、一人のちっぽけな声でも、世界を動かすような声になるのです。

人だけではありません。国連も、行動を起こしている重要な機関です。2016 年に持続可能な社会に向けての目標(SDGs)を立ち上げました。これら 17 個の目標は、次世代に美しい地球を残すためにすべきことを明示しています。その中の 13 番目の目標は「気候変動に具体的な対策を」と

いうものです。日本でもこの SDGs の目標達成に向けていろいろな取り組みを行なわれています。例えば日本経済新聞が行った各自治体の SDGs の達成度評価で私が住んでいる京都市が 1 位になりました。そのおかげで京都の地下鉄などでも宣伝されるようになりました。これを何気なく見た人達が興味を持ってくれるきっかけになれば大きな力に繋がってゆくと思います。

私はこのような大きなことはできません。しかし、自分の学校などで地球温暖化の意識を高めることができます。事実、私の学校で環境について真剣に考えている人は一握りしかいないと思います。まず、これを改善すべきだと思います。

私は小学校3年生までアメリカにいました。そこではみんな意見を堂々と発表していました。今回グretaさんがアメリカに到着し、テレビ番組で特集されましたが、同年代の学生達が次々と登場し、温暖化についての意見をはっきりと述べていました。日本でも学生同士が集まって意見を交換する場を作ってほしいと思います。若い世代がアクションを起こせば世界は変わるはず。また、積極的に自分の意見を主張する能力も頑張って身に付けていきたいと思いました。日本人はどちらかというと意見をあまり主張しないと思います。しかし、意見を主張することで、グretaさんや世界中の生徒たちは世界を変えています。私も自分の意見を主張することで何かを変えられたらいいなと思います。

ちよつとずつですが、二酸化炭素の排出量が減ってきているそうです。人任せにするのではなくグretaさんのように行動を起こせば地球温暖化は克服できるはず。